

## 張作霖氏と會見の記

いま奉天名物の張作霖氏と會見して歸つたところである。けふは殊の外御機嫌よく三十分以上言葉を交換する事が出来た。しかし面會を申し込んで即日即刻快諾したところなど、支那の大人に似合はぬ氣持のいゝところがある。

北京から萬里の長城を見るべく八達嶺にいつた、また天津にかへつた。大同府へ行かうとしたら洪水で、汽車不通河水氾濫といふのでやむなく思ひ止どまつて、船路を天津から大連に出たのであつた。大連ではコレラ流行地の天津から來たといふので、一日一夜の停船をくらひ檢便までされた。天津で大西瓜一個五錢のがうんと船へつまれてあつたが辛うじてコレラ菌なしと診斷され私と共に大連に上陸した。

大連は不景氣の極、星ヶ浦の海水浴場はかなり賑はつても埠頭の寂しさ、たゞ苦力のための勞働住宅の大建設が私に興味を與へた位であつた。滿鐵沿線とても振はない、鞍山の如き空屋の方

があるから、尙ほそれを讀まれん事を御勧めする。

## 風習の一斑 (朝鮮雜記)

△普通の場合、立膝や胡坐をしても無禮とはせぬ。

△尊族や長者の前では、眼鏡を掛けぬ。又、喫煙や飲酒もせぬ。

△室内にて冠のまゝでゐるのを禮とする。

△温突の焚口の處を、内地の床間のある處のやうに上座とする。

△婦人室 (内房) には他の男子は絶對に入ることが出来ない。

△食事の饗應に、婦人が出て待遇することはない。

△盃に注いだ酒は、大概一息で飲む。

△客が來ても茶は出さない、煙草を出すことばある。

△他家の子供を呼び棄にする。

△「お早うございます」と云ふ場合には「機嫌よく御休になりましたか」又「今晚」と云ふ場合には「御飯をおがりになりましたか」と云ふ意味の語を用ひる。

△「左様なら」と云ふ場合は「平安にお行きなさい」(ピアンヒーカシブシヨ)と云ふ語を用ゆる。

△目下の者は目上の人に、必ず兩手で待つて物を出す。

△人の家を訪問し、玄關で「御免下さい」と云ふ場合、門外から聲高く「イリオナラ」(こちらへ來い)と呼ぶ。

△室内にて坐して禮をする場合、立つて禮をする。又、御客の前にて坐する場合でも立つて居るのを禮とする。

△途中で人に會ひ、目禮などする場合、必ず「どこに御出でなさいますか」(オーテカシブニカ)と問ふ。

## 第二節 早婚の風

前述のやうに、朝鮮婦人が勤勉心強く勞役の人たる事は感心な程で、之が鮮婦の早老の弊にもなるのです。二三の子女を生んで年齢漸く老境に入らんとする頃には、顔面に著しい皺が出来ます又毛髪が脱落する、それは古來の習慣上婦人は已に十二三

哈爾濱へ

## 第十三信 音楽を喰ふ習慣

私は長春でもつて露西亞人町のハルビンに入り込む瀕踏みの積りで驛の附近の露西亞料理へ入つて見ましたが、私の姿を見つけると片隅みの男達二人は一人はピアノの鍵盤に向ひ、一人はヴァイオリンを手にとつて、何やら賑かに始めました。そしてそれから私が豫め汽車のブフェ（食堂）で讀み覺えた英語と同じスープやオムレツやピテキを順次に注文すると、其の皿のかはる毎に、五六脚しか置けない狭い部屋をピアノとヴァイオリンの交雜した音律で掻き廻して、私には折角の味も解らぬ様な迷惑を覺えさせました。感じました。處がハルビンへ來て見ると随分小さなレストランでもピアノの一臺やヴァイオリン樂手位は屹度居て、必ず食事にそれをかき鳴らします。

生來私達は音楽を聴くべきものと心得てゐます。そしてその前には悪人も善人も邪念を遠ざけて聞き惚れた崇高な人間となり切る性情を持つてゐるものです。然し一步先進國へ行くと音楽の普及とでも言ふのでせうか、料理と一處に音楽をも喰ふと見えます。屹度永い

車は十人以上の團體に對し運賃を割引し、隨時發車する。

**中部巡り**

慶州驛―(八〇〇米)―博物館慶州分館―(二籽)―芬皇寺石塔―(三〇〇米)―皇龍寺―(六〇〇米)―雁鴨池―(五〇〇米)―石水庫―(四〇〇米)―瞻星臺―(三〇〇米)―鶴林―(二籽)―五陵―(二籽)―鮑石亭―(四籽)―驛歸着

〔所要時間〕 各地見物時間を含み徒歩五時間 自動車一時間四十分 〔賃金〕 四人迄 一臺 二圓五十錢

**西部巡り**

慶州驛―(三籽)―武烈王陵―(三籽)―慶州驛歸着

〔所要時間〕 見物所要時間を含み徒歩一時間 自動車三十分 〔賃金〕 四人迄 一臺 一圓二十錢

**東部巡り**

慶州驛―(三籽七〇〇米)―四面石佛―(四〇〇米)―栢栗寺―(二籽二〇〇米)―瓢岩―(四籽)―慶州驛歸着

〔所要時間〕 各地見物時間を含み徒歩四時間 自動車一時間 〔賃金〕 四人迄 一臺 一圓二十錢

慶州驛邑内間 貸切四人迄 五十錢  
慶州佛國寺間 貸切 一臺 三圓五十錢

**佛國寺附近**

佛國寺驛―(三籽半)―佛國寺―(三籽、徒歩)―石窟庵―(三籽、徒歩)―佛國寺―(三籽半)―佛國寺驛―(四籽)―掛陵―(四籽)―佛國寺驛

〔所要時間〕 各地見物時間を含み徒歩四時間半 自動車約二時間

〔自動車賃〕 佛國寺驛佛國寺間 乗合片道 一人 三十錢

**旅館と料金**

佛國寺驛掛陵間 (三人迄壹臺) 一圓五十錢 (以上一人を増す毎に五十錢増)

**▲慶州 (和式)**

柴田・朝日・松屋の各旅館

宿泊料 一圓五十錢以上四圓五十錢迄

**▲佛國寺 (鮮式)**

安東・慶東・大邱・月城・東亞の各旅館

宿泊料 一圓以上二圓五十錢迄

**▲佛國寺 (和式)**

佛國寺旅館

宿泊料 二圓五十錢以上八圓迄

**(鮮式)**

多寶・金城旅館

宿泊料 一圓二十錢以上一圓五十錢迄

**新羅古蹟遊覽券**

慶州・佛國寺遊覽には「新羅古蹟遊覽券」を利用されるのが便利である。

▲發賣期間 毎年五月一日から十月末日迄

▲發賣驛 京城・龍山・上仁川・水原・天安・大田・群山・全州・裡里・金泉・大邱・密陽・龜浦・三浪津・釜山・草梁・釜山鎮・晋州・馬山・舊馬山・鎮海

▲經路 イ 發驛―(東村驛出)―慶州―(自動車)―古蹟遊覽―佛國寺―(佛國寺遊覽)―釜山―發驛

ロ 右の反路

▲割引率 二・三等 二割引 (慶州・佛國寺に於ける自動車賃を含む)

▲通用期間 乗車券發賣の日共十五日間

# 全羅北道の巻

## 米の群山

群山は朝鮮に於ける有望なる輸出港であつて内地に輸出する朝鮮米四百萬石は主として同地方からである、今や永年の懸案たりし築港問題も解決し、米の群山としての眞價は倍加され、將來朝鮮米の可否は同港の輸出米に依つて決せらるゝに至るであらう。

銀行、金融組合、貸金業者の貸出地域は群山府、全羅北道沃溝郡一圓、忠清南道保寧、舒川の兩郡にして、今其の大正十四年中に於ける貸出總高を科目別に示せば左表の通である。

金融業者別	定期 貸付金	當座貸越	荷爲替	割引手形	證書 貸付	手形貸付	年賦 貸付	其他 の貸付	合 計
朝鮮銀行群山支店	一四,三三〇,〇六四	一〇,三三〇,〇六四	四,〇四,七〇〇	一五,七〇〇,二二四	一八,二二九,三三三	五七,三〇〇	三九,六七九	一,一九,九三三,三三四	六,一五〇,〇〇〇
朝鮮殖産銀行群山支店	七,三〇〇	六,〇二一,五五五	二,三八,八八二	二,七七二,三五	一八,四四四	三,〇六五,六六六	—	三,一九七,六七〇	—
十八銀行群山支店	—	二,四三三,三三三	三,一八〇,六四三	八,七九七	—	三,四九九,三三三	—	九,八〇〇,三三八	—
朝鮮商業銀行群山支店	—	二九,五五六	—	九〇,六三三	一〇,二〇五,一三〇,六六五	—	—	二,〇三六,七四四	—
第一銀行群山支店	—	—	—	—	—	—	—	—	—
群山米穀信託株式會社	—	—	—	一〇,一一三,〇〇〇	一〇〇,〇〇〇	—	—	一〇,一五七,〇〇〇	—

する事が妥當であらふと存じます。

斯くて、昭和十四年の朝鮮産業界は、農工駢進の大理想の下に、前般重要礦物の増産と礦物資源の工業化の線に沿ふて邁進すべきで、之れこそ朝鮮經濟界を一段高度なる繁榮に誘導する唯一の方途であると信ずるのであります。茲に吾人は、今後一倍の努力を以て、官民協力一致、之が實現に邁進寄與致したいと、念願する次第であります。

五四

## 朝鮮の満洲

満洲國建國以來七周年、その進歩は如實に鮮やかのものである。是等の事實に關し記載若しくは説述されたるもの多いのであるが、茲には去る三月一日東京より放送せられたる左の原稿は最も簡明に全貌を云ひ盡しあるものと認め、左に抄録する。

### 盟邦満洲國の大躍進振り

盟邦満洲國は三月一日を以て、建國第七周年を迎へた。満洲國は大同元年（昭和七年）三月一日に建國以來、王道樂土の建設と、五族協和の理想を目指して邁進し、内治に外交に飛躍的な發展を遂げ、その躍進振りは世界の驚異となつてゐる。今回は盟邦満洲國の、素晴らしい發展振りに就て述べることにする。

に於ける今度の勇士の壯烈なる戦話は、一つとして大和魂をガン／＼とかき鳴らさないのでない。國史教科書の、源平時代の屋島、壇の浦、一の谷、宇治川の戦もであるが、矢さけびの音より、鉄聲股々たるもの、馬の嘶きよりも飛行機の唸りの現代の戦物語をのせて、もつて日本魂を今日の生きた歴史によつて置きかへ、關ヶ原や鎌倉の古戦場へ遠足に行つて遊覧気分になるより、旅順、北大營へ遊んで、血の煙のまだ立つてゐる滿洲の天地の勇士の墓前に立つて、一片の花でも手向けて、共に泣いたらどういふものか。

日本の國史教科書はもすこし現代の説話と置きかへて、感激を深からしめたい。

滿洲國の獨立を祈りて、ゆく／＼は地球上に於ける唯一の樂土を建設せんとして起つてゐる滿洲國の中樞の人々は、涙ぐましいほど眞剣な祈りを捧げて働いてゐられる。それを見るにつけても、一日も早く大和民族の大文化事業の完成の曉を祈りたい。

神武天皇御即位の御理想は、悠遠宏大であらせられたが、滿洲國獨立の宣言も亦中々旭日の如く輝き照らすを覺ゆ。

#### 川島芳子と遇つて

自分は滿洲へ旅しても、川島芳子に遇へようと思はなかつた。もう自分の事なぞ忘れてゐるだらうと思つたからだ。ところが、奉天の大和ホテルに居るといふことを知つて、急に遇ひたくなつて、大丸旅館から電話をかけた。するとすぐ出て「先生是非來て下さい。毎日遇ひませうよ」といふので大に嬉しかつ

うが……然し大陸に進出する女性は、同じ職業にあるにしても、内地にある女性よりかよほど「しつかり」してゐると言ふ事實だけを傳へたい。

◇親日よりも親支

（少年車夫との會話）

我々は旅行中滿人や中國人と車中同席し、菓子を分つたり、下手な筆談などを試みて大いに親善につくした。然し、車中に於て、街頭に於て、日本人の寒心せざるを得ない様な行動なども稀には目撃した。

排日を叫ぶ者も悪いが、排日をうける者にも責の一部がありはせぬかと言ふことを考へた。故に彼をして「親日」たらしめる先に「己先づ親支」たるものが絶対に必要である。率直に言ふと、

- 一、日本人一般が支那人を侮蔑して彼等に悪感を抱かせた。
  - 二、大陸に活躍してゐる日本人中には往々非紳士的行動をなす者あり彼等を憤慨せしめた。
  - 三、これまでに大陸に在つた指導階級の日本人中にも中國の歴史や民族の生活について理解の足りない者があつた。
- かうした自己反省を除外して、彼の短をのみ責め、唯いたづらに日支親善を叫んでも、これが



の下に故人の寫眞を入れたるも爰つて居る。

視察を終り夕陽赤く照らすハルピンの街を繼ひ六時二〇分大星ホテルに着す。

夕食を終りて一同旅館の案内人と共にハルピン特有の石だゝみの道を歩き夜景を見物す。人口五〇万、三万の白系露人二十四ヶ國の外人を包む北都ハルピンの夜は全く絢爛たる姿である。更くるを知らぬ街の灯は秋風寒き星空の下に輝く。静かな街に馬車の鈴の音は響く。

○九月二十三日（金）晴

七時起床。朝食後直ちに濱江省立哈爾濱師道學校（師範學校）を參觀。校長張志銘氏の案内にて校内一巡。うす暗い滿洲的建築の中に、「忠義仁愛」の校訓の下に嚴格なる教師としての養成をうくる生徒も眞剣である。

次いでビューローの露人案内者により哈爾濱特別市立哈爾濱俄僑高級小學校といふ白系露人小學校參觀。生徒四三〇名。日本人の男女二人の先生が奉職せられて居られたのは嬉しく感ぜられた。露西亞人校長の案内にて授業參觀。殊に日本